

2026年度 教育文化事業

申込締切 2026年1月16日(金)

ザ・ソウルマティックス ゴスペルコンサート 参加校募集



一般財団法人福岡県教職員互助会では、教育・文化事業として、
中学校、高等学校、特別支援学校、県立大学を対象に、
ソウルマティックスによるゴスペルコンサートを実施しています。

2026年度 18校募集
公演費無料（互助会負担）

2009年度から実施している大好評のコンサート！
ゴスペルを届けるだけでなく、メンバーそれぞれから
会場の生徒達に様々なメッセージを送ります。
コンサート終了後には、多くの生徒達から好評の声を
いただいています。

企画・主催 一般財団法人福岡県教職員互助会

「公印省略」

福教互第 108 号
2025 年 12 月 15 日

各所属所長 様

一般財団法人福岡県教職員互助会理事長

2026 年度 THE ^{ザ・ソウルマティックス} SOULMATICS ゴスペルコンサートの募集について

このことについて、右記要項のとおり参加校を募集します。

このコンサートは、当互助会の公益事業の一環として、公立の中学校、中等教育学校、高等学校、県立大学及び特別支援学校を対象に実施しております。

参加希望の学校は、別添の申込書を互助会あて 2026 年 1 月 16 日(金)までに提出してください。

【問い合わせ先】

一般財団法人福岡県教職員互助会
総務部

TEL 0120-378-007

FAX 0120-294-824

ザ・ソウルマティックス
THE SOULMATICS ゴスペルコンサート実施要項

- 1 趣旨 一般財団法人福岡県教職員互助会は、本県教育・文化の振興に寄与することを目的に、公益事業の一環として中学生・高校生及び大学生を対象とした標記のコンサートを実施します。
- 2 主催 一般財団法人福岡県教職員互助会
- 3 対象 県内の公立の中学校・中等教育学校・高等学校・県立大学及び特別支援学校
- 4 公演日 2026年6月1日(月)～11月30日(月)の間
- 5 公演場所 実施校の施設(体育館等)
- 6 費用負担 公演費用は互助会が全額負担
- 7 公演数 18公演(18校)を予定
- 8 申込書の提出 公演を希望する所属所は、コンサート申込書に必要事項を記入の上、互助会あて提出してください。
- 9 申込締切 2026年1月16日(金) 必着
- 10 実施校の決定 地域のバランス等を考慮し、選考のうえ2月下旬に所属所長あて通知します。

11 内 容

公演時間	中学校 70～80分、高等学校・大学 80～90分 ※時間短縮可
出演人員	6～8名程度
スケジュール(例)	仕込み、音響チェック (9:00～13:00) 公 演 (13:30～15:00) 撤 収 (15:00～16:30) ※仕込みから撤収まで体育館を使用しますのでご了承ください。
その他	出演者控え室(10～12名)1室の準備が必要です。 ※出演者は革靴、ハイヒール等で公演を行いますのでご了承ください。 ※周辺住宅と近接している場合、体育館の窓を開放すると苦情が寄せられることがありますのでご注意ください。

12 プログラム(予定)

演奏曲		曲の説明
1	Amazing grace	ゴスペルのスタンダード曲をアカペラで歌い上げます
2	Joyful, Joyful	映画「天使にラブソングを 2」より～感動のシーンを彩る曲です
3	This is me	映画「The Greatest Showman」より～若者に人気のナンバーです
4	Oh happy day	楽しいゴスペルのスタンダード曲です

その他、誰もが耳馴染みのある楽曲や THE SOULMATICS のオリジナルの曲を演奏いたします。

13 その他

コンサートの録音及び録画はお断りいたします。

写真撮影はしていただいて構いません。

～THE SOULMATICS プロフィール～♪

THE SOULMATICS(ザ・ソウルマティックス)は、現代ゴスペル 200 曲以上をレパートリーにもつゴスペルグループで、拠点を東京、大阪、福岡に置き、国内外を問わず数多くのアーティストとも共演し、幅広い年齢層の方々から好評を得ています。全国の中学校・高校での芸術鑑賞会も大事な活動としています。ただ歌うだけではなく、音楽を通じて多くの方に元気になっていただいたり、勇気づけたりすることを心に活動を行っています。

～Gospel(ゴスペル)とは ～♪

Gospel という名前は「Good Spell(良い知らせ)」という言葉が語源に生まれました。北アメリカでアフリカ系アメリカ人が奴隷として働いていた頃生まれた音楽です。

奴隷達は苦しい労働条件や家族から引き離された苦しみ、自由への希望を歌に込め、魂の限りに歌いました。奴隷が解放された後、教会でゴスペルは歌われ、社会や音楽の変化に伴いその形は変えたものの、メッセージは変わらず現代に至ります。

ゴスペルの歌詞は「今どんなに苦しくても大丈夫だ」とか「心配しないで」など、ポジティブなメッセージと勇気に溢れています。